

女の子だから 男の子だから

見能林小学校

三年

八木

瑞希

(敬称略)

「女の子だからそんなにべんきょうしなくていいと思うけど。」
ずっと前に大人がこんな話をしていました。私は毎日べんきょうをがんばっています。お父さんとお母さんもおうえんしてくれています。だからその時、「女の子だからあまりべんきょうしなくていい。」なんておかしいと思いました。でも理由もわからないし、おかしいなという気持ちだけのこっっていました。

家てい人けん学習の日に、家ぞくで人けんについて考えました。その時に「女の子だから男の子だから。」の話をしました。

「女の子だから、男の子だからと決めつけていることはないかな。」とお母さんが言いました。

「男の子だからないてはいけないというのはどうかな。」
と私が言いました。いたいことやかなしいという気持ちは女の子もいっしょだと思っし、ないてはいけないというのは、ちがうなと思っし。

よくわからないけれど、色で男の子と女の子を分けるのは正しいのかなとかんじました。

私は、女の子だけど青色も大すきです。青色の体そう服も着てみたいけど、男女で色が分けられているのはどうなのかなと思っし。

お母さんは
「おかしいと思ったり、気づいたりすることは大切よ。」
と教えてくれました。だからこの作文に書いてみました。みんなで考えて

みたいです。

そして、女の子や男の子と言ってきたけれど、男女という二つのせいべつでわかるのもちがっていて、もっと多くのせいべつがある事もわかりました。

いろんな人がいていいし、みんなちがっていいと思っし。

「女の子だからべんきょうをあまりしなくていい。」というのは昔、女の子はけっこんすることが一番しあわせだと考える人が多くいたので、今もそう思っている人がいるということを知りました。でも、いろんな人がいて、考え方をおしつけるのはちがうと思っし。

私は、いっばいべんきょうして、おかしいなということに気づく力をつ

けたいです。べんきようは生きていくためにひつような力をつけるために
大切と思うので、今度同じようなことを言っている人がいたら、理由をち
やんと説明しようと思います。